

明治期日欧言語交流史の一研究

— 小山篤叙纂訳『学校用英和字典』における
訳語収載状況をめぐって —

坂本浩一

はじめに

明治期の対訳辞書資料は近代日本語語彙が大きく展開して行く様を觀察する上で、またとない言語情報を提供してくれるものである。これまで稿者が重ねてきた語彙調査分析を承け、本稿においてはさらに明治18年に刊行された『学校用英和字典』を調査対象として、いわゆる第二次英学書ブーム期^(注1)において訳語語彙がどのようなありさまであったかを追究して行きたい。

『学校用英和字典』は、「学校」と冠せられている点がこれまで取り上げてきた辞書資料と異なっており注目できる。該書刊行の前年、明治17年に刊行された『英語節用集』は、『哲学字彙』に影響を受けていることに象徴されるように学術専門的な一面を有していたと同時に、編者が「学者応用ノ術語ノ如キハ之レヲ知ラサル人モ亦タ少ナカラサルヲ信ス」とし「寒村僻邑ノ諸子ノ為ニ」と刊行に臨んだと緒言に示すように日用通俗的な一面もまた兼ね備えていた^(注2)。

『学校用英和字典』の「学校」という字句が果たしてどのような内容を持ちあわせているのかは大いに興味をひくところであり、本稿ではそうした成立背景も含め語彙資料としての性質を検討して行きたいと思う。

1 調査対象資料

『学校用英和字典』は明治18年2月に小山篤叙の纂訳により刊行された対

訳辞書資料である。その奥書には次のような記載が存する。

明治十七年十一月十九日版權免許
 同十八年二月出版（定価金三円）
 纂訳兼出版人 東京士族 小山篤叙 日本橋区浜町一丁目六番地
 大売捌書肆
 東京芝区柴井町 土屋忠兵衛
 同 京橋区鎗屋町 大和屋松之助
 同 日本橋区本町三丁目 瑞穂屋卯三郎
 同 両国吉川町 島屋一介
 同 通り三丁目 丸善商社

小山篤叙という人物について詳しいことはわかっていない。しかしながら、該資料中に「例言」として、小山自身がその刊行動機・背景事情を窺える記述を残している（傍線・括弧は稿者に拠る。適宜文字間にスペース付与。以下同。）。

一 方今坊間ニ行ハル、所ノ英和对訳辞書類汗牛啻ナラスト雖トモ《合字》概ネ繁簡其中ヲ得ス 之ニ加フルニ其語ノ学校生徒ニ必要ナルト否ラサルトヲ問ハス偏ヘニ字数ノ多キヲ競ヒ葉数随テ多ク価額随テ貴ク徒ラニ購者ノ不便ヲ増スノミ 是レ実ニ専ラ文運隆盛ヲ之レ慮ルノ今日ニ於テ一大欠典（ママ）タリ 余茲ニ憾ムルアリ 近世有名ノ学士米人ニハウエブストル氏著「アンアプリヂド、ヂクシヨナリー」「ロヤル、オクタボ、ヂクシヨナリー」 英人ニハオジルビー氏著「エンペリアル、ヂクシヨナリー」 ナツタル氏著「スタンダード、プロナウンシングヂクシヨナリー」等ニ就キ其語ノ学校生徒ニ最モ切要ナルモノ数万言ヲ抄訳シ多年ノ功ヲ積ミ始メテ此篇ヲ成スヲ得タリ 是レ特ニ此書ヲ名ケテ学校用英和字典ト曰フ所以ナリ

一 訳語ハ元來達意ヲ主トスルヲ以テ故ラニ雅語難字ヲ用ヒテ己レノ虚名ヲ博スルカ如キニ倣ハス 大抵從來諸家慣用ノ字面ニ従フ 只其前例ヲ欠クモノ及ヒ訳語冗長ニシテ称呼通読ニ不便ノ者ハ英人ロブスチエールド氏著英華辞典及ヒ上海申報館發兌ノ華英字典等ニ就キ漢人ノ訳語ヲ倣用シ之ニ傍注ヲ附ス

一 書中用フル所ノ八品詞等ノ略符ハ次頁ノ解例ニヨリテ之ヲ考明ス可シ

明治十八年二月 訳者識ス

纂訳者小山は、「価額随テ貴ク徒ラニ購者ノ不便ヲ増スノミ」と述べているように、英和辞書の価額高騰が購買者を苦しめていることを「一大欠典」と考え、そうした者に向け廉価な辞書を供給したいという刊行動機を示している。この対訳辞書の低価額志向のありさまをめぐって、まずは検討しておきたい。

1-1 明治18年当時の英和辞書出版広告について

明治18年当時における英和辞書の価額については、国文学研究資料館が公開している「明治期出版広告データベース」を参照すると、例えば次のような状況であった。

(I) 広告の価額が高目に設定してあるもの【定価6円以上】

『独英和三対字彙大全』正価8円（『東京日日新聞』明治18年9月2日）

(II) 広告の価額が中間的なもの【定価4～5円程度】

『英和対訳辞書』定価4円（『東京日日新聞』明治18年2月5日）

(I) あたりが「価額随テ貴ク」の様を見せているところであるが、こうした高額の定価販売ではなかなか熾烈な業界内競争において苦しくなってきた業者が次第に増えたらしく、本来の定価から値引いた価額を広告するケースが明治18年頃には多く見られるようになってきた。

(III) 広告で価額を定価や時価から値引く動きを示したもの

『明治新撰和訳英辞林』定価5円（『東京日日新聞』明治18年1月28日）

→改正定価4円（『東京日日新聞』明治18年4月7日）

→再改正定価4円※二千名限り予約特別廉価2円40銭（『東京日日新聞』明治18年9月26日）

『写真石版英和字彙』定価5円25銭（「市価現ニ七八円ニ騰貴」）

→2円50銭※「五百人ノ同盟者ヲ募集」（『東京日日新聞』明治18年7月14日・9月25日）

『日就社第一版／英和字彙』原版時価10円→予約3円80銭（『東京日日新聞』明治18年9月18日）

『附音挿図英和字彙』正価6円→予約特別廉価3円20銭（『東京日日新聞』明治18年9月21日）

『大正増補和訳英辞林』時価3円50銭→予約1円80銭（『東京日日新聞』

明治18年11月6日) ※「小社ノ英和字彙御加入ニテ本書予約者へハ一円五十銭ニテ可呈候」

『和訳英字典大全』定価8円→予約特別廉価4円 ※五百名限り (『東京日日新聞』明治18年11月9日)

『英和字彙』定価5円→予約値段3円80銭 (『東京日日新聞』明治18年12月6日・11日)

『英和和英字彙大全』全部二冊 定価8円 → 分冊販売へ

『英和和英字彙大全 英和之部』全一冊 定価4円50銭→特別廉価2円50銭 (『東京日日新聞』明治18年10月31日・12月8日)

和訳英辞林』定価3円 1円30銭ニテ呈ス (『東京日日新聞』明治18年12月28日)

『英和对訳大辞彙』定価7円50銭→予約正価3円50銭 (『東京日日新聞』明治18年2月28日)

『袖珍英和辞書』正価金1円50銭→千名限特別廉価金1円20銭 (『東京日日新聞』明治18年5月25日)

『英和正辞典』定価1円75銭→予約正価1円 (『東京日日新聞』明治18年7月12日)

『明治新撰和訳英辞林』は本来5円だった定価を4円に改め、さらには二千名限定で予約特別廉価2円40銭ともとの半額以下の価額を設定するなどして販売促進のテコ入れを重ねている。

『附音挿図英和字彙』の広告を見てみると、次のとおり高騰する辞書を購入しやすくするために値下げし分割払いを導入し需要を喚起しようと努力している様が窺え、またそれが「時流ニ従ヒ」と業界に拡がっているムーブメントであることが示されている。

坊間ノ価額八九円ノ間ニ騰ルノミナラス高価ヲ厭ハサルモ猶ホ多数ヲ得ベカラズ為メニ毎々諸君ノ高囑ニ応スル能ハサルヲ憂フルコト久シ今ヤ同彙諸君ノ懇懇ヲ蒙リ黙止スルニ忍ビス即チ時流ニ従ヒ頗ブル簡易ノ予約法ヲ設ケ弘ク同盟員ヲ募リ最モ得難ク最モ価貴ク而シテ最モ大部ナル書ヲ四回ニ分刷シ全部ヲ僅々三円二十銭ノ低価ヲ以テ有志諸君ノ囑ニ応ジ購求ニ便ナラシメントス (『東京日日新聞』明治18年9月21日)

『英和和英字彙大全』は、もともと英和の部・和英の部合わせて全二冊定価8円で販売していたようだが、英和の部一冊を特別廉価価額2円50銭で売り

捌く戦略に切り替えている。同様な数量限定での廉価販売を試みる辞書の販売手法が相次いで見られている。

また『大正増補和訳英辞林』の広告には、次のような記述が見られる。

○小社ノ英和字彙御加入ニテ本書予約者へハ一円五十銭ニテ可呈候○当今予約流行ノ際購求諸君ハ可信用出版人ニ御依頼無之テハ中途廃滅或ハ見本ト相違ノ患アリ出版人謹白（『東京日日新聞』明治18年11月6日・8日）

すなわち英和辞書の予約出版ブームの流行の中で、信頼できない業者も暗躍しており、予約金を取っておきながら廃業してしまったり見本と異なる粗悪品を引き渡したりといったトラブルが起きていたことも分かる。

多くの広告から、会員限定数量限定・予約受注生産などあの手この手で余剰の在庫を抱えないよう苦慮しながら利益を確保しようとする辞書出版・流通業者の努力と苦悩が見て取れる。一渡り供給がなされ新規需要が頭打ち傾向にあった英和辞書市場、供給過剰傾向から値崩れを起こす中での過当な競争の始まり、これが明治18年当時のありさまであったかと思われる。

そうした中、写真石版術で活字組工程を削るなどのコストダウンを図ったり、大型辞書から項目数や記述分量をダウンサイジングした中型・小型辞書へとシフトしたり、ジャンルを専門特化したものや初学者層に絞り込み特化した辞書商品の提供で、苦難を乗り越えようといった辞書業界の戦略工夫こそが第二次英学書ブーム期を形作っていたことがわかる。中には、『大正増補和訳英辞林』（『東京日日新聞』明治18年11月6日）のように、「小社ノ英和字彙御加入ニテ本書予約者へハ一円五十銭ニテ可呈候」と抱き合わせ商法を仕掛けるなど、辞書出版業界各業者が知恵を凝らした戦略が繰り返り広げられていたのである。

なお、『写真石版英和字彙』の出版広告には次のようなくだりがあり、当時の古書市場でも人気のある英和辞書の価額が高騰していたことや経済的に困窮する学生層に苦悩をもたらしていた当時の状況が描写されていて興味深い^(注3)。

近事英和对訳辞書ノ出版其種類頗ル多シト雖トモ其字数ノ多クシテ意義ノ詳ナルモノ未タ嘗テ日就社ノ出版ニ係ル英和字彙ニ如クモノアラス而シテ其英和字彙ニ第一版（無版權）ト第二版トノ二種アリ第二版ハ其第一版ヲ増補訂正セシモノナレハ之ニ依テ一層ノ高尚ヲ極メタルハ勿論ナ

リト雖トモ初学ノ為メニハ却テ第一版ヲ便トスルノ実アルコトハ元来此書ノ定価五円二十五銭ヲ■シアルニモ拘ハラス古本ノ市価現ニ七八円ニ騰貴スルモ尚ホ市場ニ■底ナルヲ以テ知ルヘシ於ハ乎在京ノ英学生若干名同盟團結シテ其第一版ヲ新ニ翻刻出版セントスルノ拳アリ弊社之カ幹旋ノ委托ヲ受ケ百万計画ノ後漸ク一ノ新工夫ヲ按出シ鮮明ナル写真石版ニ縮写シ其字数ハ勿論挿図ヲモ減少スルコトナク編纂ノ体裁ヲ一新シテ頗ル簡便ヲ極メ且ツ僅々二円五十銭ノ廉価ヲ以テ諸氏ノ望ニ応スルコトヲ得タリ依テ更ニ五百人ノ同盟者ヲ募集セントス幸ニ同意ノ諸君速ニ加盟アランコトヲ望ム（『東京日日新聞』明治18年7月14日）

(IV) 広告の価額を低めに設定しているもの【定価3円以下】

『学校用英和字典』定価3円（『東京日日新聞』明治18年3月1日）^(注4)

『訂訳増補大全英和辞書』特別廉価2円20銭 ※ただし「刊本費」1円10銭×2回が必要（『東京日日新聞』明治18年8月12日）

『訂訳大全英和辞書』廉価2円50銭（『東京日日新聞』明治18年11月7日）

『英和双解字典』定価2円（『東京日日新聞』明治18年12月29日）

(III) で見たような低価額競争が英和辞書業界に行き渡って行った結果、新たな辞書商品では価格を低く抑えたものが普通に見られるようになった。その状況下での一商品として、今回調査対象に取り上げた『学校用英和字典』も位置付けられる。編者小山の「価額随テ貴ク徒ラニ購者ノ不便ヲ増ス」は、義憤を装いながら、「予約廉価」といった特別価額でなく3円という「定価」を設定せざるを得ない出版人としての嘆息であった、というのが偽らざるところでなかったか。

(V) その他 小型化による廉価辞書商品

『新撰初学英和辞書』正価95銭 ※やや小型 本体部分は358頁だが簡略記述で実分量が他より少ない（『東京日日新聞』明治18年10月17日）

『附音挿画英和玉篇』定価1円80銭→予約定価1円（『東京日日新聞』明治18年11月9日・28日）

『新撰初学英和辞書』の広告記述は次のとおりであり、「THE CHEAPEST AND THE BEST DICTIONARY」の謳い文句が重複感嘆符付きで強調され、大いに目を引くものとなっている。

!!!THE CHEAPEST AND THE BEST DICTIONARY EVER APPEARE (ママ) !!!

永井尚行先生掲載

新撰／初学英和辞書 正価金九十五銭

本書ハ読本、歴史、論説、伝記、其他諸学科中ノ語ハ悉ク載セテ洩ス事
ナク徒ニ字数ノミ多カラズシテ实用ニ適シ殊ニ至廉字体鮮明初学生ニ
在リテ必用ノ良書ナリ

●方今英学ノ行ハル、駁々トシテ日一日ト盛ナルヨリ従テ対訳辞書ノ類
亦尠トセザレド其古キハ陳腐ニ属シ新キ者モ充分改良セシ者アルヲ見ズ
且徒字数ト紙頁トノ多ヲ貪ル者ノ如シ然レトモ世ノ英学ヲ修セシ者ハ業
已ニ知ラル、如ク対訳辞書ニ用ルノハ僅々ノ時日ニシテ少シク学業ノ
進ニ從ヒ対訳辞書ニ拠ザルモ能字義ヲ探得ル者ナリ」許多ノ書籍ニ涉
シテ後初ヲ其意ヲ知得ベキ哲学ノ語或ハ其門ニ入テ漸ク其義ヲ悟ルベキ
専門學術ノ文字等ハ之ヲ対訳辞書申エ載スルモ初学生ニハ蓄ニ益ナキノ
ミナラズ其意味ヲ充分識シ得ベキ者ニ非ズ敢テ是等ノ文字ヲ載レハ紙頁
ト価額トヲ増シ却テ学生ノ不便ヲ来タスノ外ナラズ永井尚行君大ニ茲ニ
見アリテ初学ヨリ原辞書ヲ用ヒ得ルノ学力ニ至ル間實ニ適當スベキ辞
書ヲ発行セン事ヲ企図セリ今ヤ刻成ル斯ハ君數年間公私ノ学校ニ在リ実
地授業ノ経験ニ因テ編輯セラレタル者ナレバ訳字適切ハ勿論携帯至便価
額至廉字又鮮明些少ノ冗空ナキハ恰モ外史ノ外史字引十八史ニノ十八史
略字引読本ノ読本字引ニ於ルガ如ク右等ヲ一括シテ所持スルニ同シ殊ニ
価額ノ至廉ナルヲ以テ容易ニ購ヒ得ベキ者ナレバ中小学ハ元ヨリ諸
英学校生徒及ヒ独修生トモ一本ヲ購求セヨ机上ノ良師友トナラン事決
テ誣言ニ非サルナリ

(『東京日日新聞』明治18年10月17日)

「初学ヨリ原辞書ヲ用ヒ得ルノ学力ニ至ル間」の「適當スベキ辞書」、すな
わち初学者レベルから熟達者レベルに至るまでの学力に見合った英和辞書が
欠けているとした指摘は的確であり、第二次英学書ブーム期に続々と簡便な
初級者向けの辞書が刊行された現象の背景説明が良く成されている。

また、「斯ハ君數年間公私ノ学校ニ在リ実地授業ノ経験ニ因テ編輯セラレ
タル者ナレバ訳字適切ハ勿論携帯至便価額至廉字又鮮明些少ノ冗空ナキ」と
する記述は、本稿対象資料『学校用英和字典』「例言」中の「学校生徒ニ最モ切
要ナルモノ數万言ヲ抄訳シ」という方針と重なるものであり、「学校」現場に
適切に対応する辞書商品が購買層に待望されていた事情を物語っている。

『附音挿画英和玉篇』についても、次のとおり「中小学校ノ用ニ供シ」と学校対応を商品アピールの第一に挙げており、当代の初学者向け辞書需要に敏感に答えていることが分かる。

此辞書ハ有名ナル学士「ウエブストル」氏ノ「プライマリー、スクール、ヂクシヨナリー」ニ原キ兼テ「ロートレッヂ」氏ノ「デスク、ヂクシヨナリー」ヲ参酌シ廣ク中小学校ノ用ニ供シ又ハ普通日用上ニ欠ク可ラザル普語ハ網羅シテ漏サズ且ツ簡短軽便ヲ旨トシテ平常ハ勿論旅行ノ携帯ニモ至極ノ便利ヲ為シ製本小ナレトモ十分ニ必用語ヲ蒐輯シ就中発音ノ高低ハ先ツ解説ヲ為シテ更ニ各種ノ符号ヲ附ケ綴字ノ方法ハ数十条ノ規則ニテ明白ニ理會シ易カラシメ又緻密ナル画ヲ挿ミテ丁寧ニ図解ヲ示シ以テ初学ノ為メニ利益ヲ与フコト難シトセズ其他訳字ハ務メテ女小供ニモ解シ易キヲ第一トシテ非常無類ノ低価ニ売り廃ムルノ本旨ナレバ決シテ是迄在来ノ小字書ノ比ニアラズ即チ本邦未曾有ノ簡便有用ナル懷中字書ナリ依テ此困左ノ予約出版法ヲ立テ世上諸君子ノ陸続購求アランコトヲ切望ス

予約出版法

一本書ハ普通定価金一円八十銭予約定価金一円トス

一本書ハ五千部ヲ限り予約定価ヲ以テ販売スルモノトス

一本書ノ購求予約ヲ望マル、諸君ハ本日ヨリ十一月三十日迄ニ左ノ書式ニ拠リ申込アルヘシ

(『東京日日新聞』明治18年11月9日)

また、『附音挿画英和玉篇』広告中には上記のとおり、「予約出版法」が明記してあり、「五千部ヲ限り」・「本日ヨリ十一月三十日迄」と、数量限定・期間限定の廉価販売を強調し、購買意欲を昂進させ購入決断を押し迫る辞書出版業者の具体的戦略例としても興味深い。

1-2 『学校用英和字典』「例言」をめぐるその他の点について

先に掲げた『学校用英和字典』「例言」中で、小山は外国人編著辞書を多く示している。

まず、当時すでに英語学習者の間では高名な欧米辞書であった「ウエブストル氏著」の「アンアブリザド、ヂクシヨナリー」「ロヤル、オクタボ、ヂクシヨナリー」、「オジルビー氏著」の「エンペリアル、ヂクシヨナリー」、「ナツタル氏著」の「スタンダード、プロナウンシングヂクシヨナリー」を並べ

で示し、こうしたものの中から「学校生徒ニ最モ切要ナルモノ数万言ヲ抄訳シ」たと述べる。この「学校生徒」にこだわり配慮したことが書名の由来であると言う。

英米有名辞書から学校での学習に必要な原語を限定し選定することは、むやみに収載見出し数を競い辞書を大型化させ価格高騰を招き購買者を悩ませてきたこれまでの辞書業界の轍を踏まないことを強調した記述であり、前節で検討した当代における英和辞書編纂見直しの潮流を具現化したものとなっている。

また、訳語語形の選定作業については、「元来達意ヲ主トスルヲ以テ故ラニ雅語難字ヲ用ヒテ己レノ虚名ヲ博スルカ如キニ倣ハス 大抵従来諸家慣用ノ字面ニ従フ」と高雅難解に走るものを良しとせず、あくまで慣用穏当のものとなるよう心掛けたとする。しかしながら、そうした馴染みの語形が引き当てられない場合の措置としては、「ロブスチエールド氏著英華辞典及ヒ上海申報館発兌ノ華英字典等」を参照し、その「漢人ノ訳語」を仮に採用し傍注を付したとする。この点をめぐっては今ここで詳しく調査を進めるだけのゆとりがなく、機会を改めて検討を行いたい、例えば『華英字典』^(註5)と第一項目を並べて見ると次のとおりである。

『学校用英和字典』 ※ [] はルビ。

A 字母 [ジボ] ノ第一字ニシテ不定冠詞ナリ 子音ヲ以テ起レル単数名詞 [タンスウメイシ] ノ前ニアルトキ《合字》ハ (一) 又ハ (或) ノ意ヲ示ス

A man 一個人 A pen 一管筆 (クワンヒツ) A book 一部書

A needle 一眼針 A boat 一隻艇 (セキテイ)

『華英字典』

A, considered as the article of unity, is in Chinese expressed by —, between which and the noun, a character is frequently inserted, by which the Chinese reckon the the (ママ) thing referred to, and therefore it is called a numeral; as, (※以下、関連する項目のみを抜粋。)

A man 一個人 A pen 一枝筆 A book 一部書 A needle 一眼針

A boat 一隻艇

これを見ると、『学校用英和字典』・『華英字典』の訳語語形は、「A pen」の訳語が「一管筆」・「一枝筆」と下線部分で一文字相違があるだけで他の訳

語は共通したものとなっていることが分かる。この間の異同について、例えば、明治17年に刊行された羅布存徳 (Lobscheid) 原著井上哲次郎訂増『訂増英華字典』^(注6)の関連項目を窺うと、次のように「A pen」項目の訳語が「一枝(管)筆」となっている点に関心が高まる。

A man 一個人 A pen 一枝(管)筆 A book 一部書 A needle
一眼針 A boat 一隻艇

当然明治18年刊『学校用英和字典』の編者小山が、前年刊行『訂増英華字典』の記述を参照した可能性はあるのであって、墨黒土 (Medhorst) 原編著『華英字典』(1844)の上海点石齋による光緒五年 (1879) 申報館版の記述と合わせ見た上で、編者が「一管筆」語形を「仮」に選択し「クワンヒツ」の「傍注」を付した、と推測することもできよう。

もちろん、この端切れのような情報の組み合わせで『学校用英和字典』の編集作業の内実を隅々まで確認するというわけにはいかないのだけれども、「例言」に示す訳語選定作業がこのような工程の積み重ねで成り立っていったのであれば、「学校生徒」のために適切な辞書記述を目指したという小山の試みの成否を評価する上で、見逃せない一要点として捉えることができるのである。

1-3 『学校用英和字典』の構成

まず、欧文の書名タイトル・刊行年表示等は次のとおりである。

AN ENGLISH AND JAPANESE DICTIONARY,
FOR SCHOOL USE; CONTAINING MANY THOUSAND NEW WORDS, WHICH MODERN CIVILIZATION HAS CALLED INTO EXISTENCE, WITH APPENDIXES. BY T. OYAMA.

NEW EDITION. TOKIO: 18TH YEAR OF MEIJI

小山が例言で「学校生徒ニ最モ切要ナルモノ数万言ヲ抄訳シ」と記述した意気込みが、「FOR SCHOOL USE」、また「CONTAINING MANY THOUSAND NEW WORDS, WHICH MODERN CIVILIZATION HAS CALLED INTO」

「EXISTENCE」に反映している。ただし「大抵従来諸家慣用ノ字面ニ従フ」という記述に対して、「NEW WORDS」という字句の解釈を十分慎重に行うべきであることに留意したい。

新概念に対応した訳語語形であることと、当該訳語語形が新鮮に創出されたものであるということとは別であるからである。概念の新旧と語形の新旧の組み合わせは4種のパターンを生み出すことになり、旧概念—旧語形の型を除けば全て「新」の要素が関わったものとなる。個々の概念、語形の事情を汲みながら検討がなされる必要がある。

例言が2頁分示されたあとに、1頁分「此書所用略符」が挙げられる。

(形) adjective 形容詞 (副) adverb 副詞

(比) comparative (ママ) 比較級 (接) conjunction 接続詞

(約) contracted 約略 (女) feminine 女性

(未) future 未来 (間) interjection 間投詞 (男) masculine 男性

(中) neuter 中性 (人) person 人称 (複) plural 複数

(過分) participle past 過去分詞 (現分) participle present 現在分詞

(前) preposition 前詞 (過) preterit 過去 (代) pronoun 代名詞

(単) singular 単数 (最) superlative 最上級 (動) verb 動詞

(自) verb intransitive 自動詞 (他) verb transitive 他動詞

(助) auxiliary verb 助動詞

例言の「書中用フル所ノ八品詞等ノ略符」ということになる。前置詞の名称が前詞となっている。

この外の構成要素については、次のとおりである。

本編1-550頁 / 不規則動詞表551-562頁 / 略語之解563-573頁 /

APPENDIX 貨幣度量衡表 2頁分

なお、奥付の記載内容は以下のとおりである。

明治十七年十一月十九日 版權免許/同 十八年二月出版(定価金三円)

纂訳兼出版人 東京士族 小山篤叙 日本橋区浜町一丁目六番地

大売捌書肆

東京芝区柴井町 土屋忠兵衛/同 京橋区鎗屋町 大和屋松之助/

同 日本橋区本町三丁目 瑞穂屋卯三郎/同 両国吉川町 島屋一介/

同 通り三丁目 丸善商社

土屋忠兵衛は、『英和数学辞書』(山田昌邦編訳 明治11年)、『英和支那通

弁須知』(山口猛五郎編 明治16年)、『ピネヲ氏文典独学字書』(清水房之助訳 明治16年)など、当時洋学関連書の発兌を手がけている人物である。また、瑞穂屋卯三郎も『致知啓蒙』(西周著 明治7年)、『内科提綱』(佐々木東洋補訳 明治10～13年)などの訳書出版に携わった業者である。

『学校用英和字典』の刊行事業は、こうした支持者を背景として先に取り上げたように新聞広告を再三打つなど積極的に販売戦略を展開したものであった。現代の丸善雄松堂につながる丸善商社が一枚噛んでいることにも、『学校用英和字典』という辞書は、現在ほとんど辞書史にその名を留めることもない出版物に過ぎないのであるが、価格競争など業界を取り巻く環境も厳しい最中、思いの外業者が力を込めて打って出た開発商品であったことを窺わせるのである。

2 調査方法

これまでに積み上げてきたデータとの対照比較を目指し、『英語節用集』中で二字漢字表記語見出しが掲出された項目の英語見出し語形477項目について、『学校用英和字典』におけるその立項の有無と掲出訳語の一致状況について調査を行った。以下、本稿では当該漢字表記語を掲出していたものを「○」、英語見出し語形が項目として辞書中に立てられながら掲出訳語中に当該漢字表記語が存在しないものを「△」、英語見出し語形自体を項目として立てていないものを「-」として扱うこととする^(注7)。

3 『学校用英和字典』に関する調査結果の全体的概要

『英語節用集』の他に、第一次英学書ブーム期辞書、第二次英学書ブーム期辞書、明治20年代大型辞書、現代辞書の各資料群のデータを交えて俯瞰しておく。

- (1) 第一次英学書ブーム期対訳辞書資料…『英和掌中字典』(明治6年刊)、『写真石版附音挿図英和字彙』(明治18年刊：内情は復刻版であり、第一次英学書ブーム期の資料として扱う。)
- (2) 第二次英学書ブーム期対訳辞書資料
 - (2) - A 中国系対訳辞書資料…『華英字典』(明治14年刊)

- (2) - B 国内系対訳辞書資料…『英和袖珍字彙』(明治17年刊)、『英和正辞典』(明治18年刊)、『新撰初学英和辞書』(明治18年刊)、『訂訳大全英和辞書』(明治18年刊)、『英和小字彙』(明治20年刊)、『插画訂訳英和对訳新辞林』(明治20年刊)
- (3) 明治20年代大型集成的対訳辞書資料…『漢英対照いろは辞典』(明治21年刊)、『漢語英訳辞典』(明治22~25年刊)
- (4) 現代国語辞書資料…『岩波国語辞典7版』(平成24年刊)

これらの資料群について、以下に表1-1~1-3として示す。(3)・(4)の資料群については、当該の二字漢字表記語が見出しとして立項されているものは「○」、そうでないものは「-」として扱う。

〔○型〕の数値について、表1-2中『学校用英和字典』の36.3%というの

表1-1 (第一次英学書ブーム期資料群)

		「英語節用集」所収部名	宗哲	学術	宗応	人官	政法	政応	堂処	年歴	計
「英語節用集」明17	各所収部所属全項目数	135	61	284	160	123	93	40	18	914	
	上記各項目数の全体内比率	14.8%	6.7%	31.1%	17.5%	13.5%	10.2%	4.4%	2.0%	100.0%	
	各所収部内の二字漢字表記語数	3	8	250	65	55	72	14	10	477	
	上記二字漢字表記語の当該所収部内における比率	2.2%	13.1%	88.0%	40.6%	44.7%	77.4%	35.0%	55.6%	52.2%	
第一次英学書ブーム期 「英和掌中字典」明6 堂真石版附音挿図英和字典「復刻」明18	対応する〔○型〕項目数	1	5	65	15	6	2	3	3	100	
	対応する〔○型〕の二字漢字表記語内比率	33.3%	62.5%	26.0%	23.1%	10.9%	2.8%	21.4%	30.0%	21.0%	
	対応する〔△型〕項目数	0	3	141	35	27	54	8	4	275	
	対応する〔△型〕の二字漢字表記語内比率	0.0%	37.5%	56.4%	53.8%	49.1%	75.0%	57.1%	40.0%	57.7%	
	対応する〔-型〕項目数	2	0	44	15	22	16	3	3	102	
	対応する〔-型〕の二字漢字表記語内比率	66.7%	0.0%	17.6%	23.1%	40.0%	22.2%	21.4%	30.0%	21.4%	
	対応する二字漢字表記語合計	3	8	250	65	55	72	14	10	477	
	対応する〔○型〕項目数	0	6	84	25	18	17	6	3	159	
	対応する〔○型〕の二字漢字表記語内比率	0.0%	75.0%	33.6%	38.5%	32.7%	23.6%	42.9%	30.0%	33.3%	
	対応する〔△型〕項目数	1	2	134	29	20	46	7	6	245	
	対応する〔△型〕の二字漢字表記語内比率	33.3%	25.0%	53.6%	44.6%	36.4%	63.9%	50.0%	60.0%	51.4%	
対応する〔-型〕項目数	2	0	32	11	17	9	1	1	73		
対応する〔-型〕の二字漢字表記語内比率	66.7%	0.0%	12.8%	16.9%	30.9%	12.5%	7.1%	10.0%	15.3%		
対応する二字漢字表記語合計	3	8	250	65	55	72	14	10	477		

表1-2 (第二次英学書ブーム期資料群)

		『英語節用集』所収部名	宗哲	學術	宗応	人官	政法	政応	堂旭	年歴	計
第二次英学書ブーム期	『英語節用集』明17	各所収部内の二字漢字表記語数	3	8	250	65	55	72	14	10	477
	『華英字典』明14	対応する〔○型〕項目数	1	5	35	13	5	6	2	2	69
		対応する〔○型〕の二字漢字表記語内比率	33.3%	62.5%	14.0%	20.0%	9.1%	8.3%	14.3%	20.0%	14.5%
		対応する〔△型〕項目数	0	2	151	37	21	40	9	4	264
		対応する〔△型〕の二字漢字表記語内比率	0.0%	25.0%	60.4%	56.9%	38.2%	55.6%	64.3%	40.0%	55.3%
		対応する〔-型〕項目数	2	1	64	15	29	26	3	4	144
		対応する〔-型〕の二字漢字表記語内比率	66.7%	12.5%	25.6%	23.1%	52.7%	36.1%	21.4%	40.0%	30.2%
		対応する二字漢字表記語合計	3	8	250	65	55	72	14	10	477
	『英和袖珍字彙』明17	対応する〔○型〕項目数	1	5	79	19	14	4	4	3	129
		対応する〔○型〕の二字漢字表記語内比率	33.3%	62.5%	31.6%	29.2%	25.5%	5.6%	28.6%	30.0%	27.0%
		対応する〔△型〕項目数	0	3	131	34	24	54	7	4	257
		対応する〔△型〕の二字漢字表記語内比率	0.0%	37.5%	52.4%	52.3%	43.6%	75.0%	50.0%	40.0%	53.9%
		対応する〔-型〕項目数	2	0	40	12	17	14	3	3	91
		対応する〔-型〕の二字漢字表記語内比率	66.7%	0.0%	16.0%	18.5%	30.9%	19.4%	21.4%	30.0%	19.1%
		対応する二字漢字表記語合計	3	8	250	65	55	72	14	10	477
	『学校用英和字典』明18	対応する〔○型〕項目数	1	7	93	18	19	23	8	4	173
		対応する〔○型〕の二字漢字表記語内比率	33.3%	87.5%	37.2%	27.7%	34.5%	31.9%	57.1%	40.0%	36.3%
		対応する〔△型〕項目数	1	1	119	37	14	40	5	3	220
		対応する〔△型〕の二字漢字表記語内比率	33.3%	12.5%	47.6%	56.9%	25.5%	55.6%	35.7%	30.0%	46.1%
		対応する〔-型〕項目数	1	0	38	10	22	9	1	3	84
		対応する〔-型〕の二字漢字表記語内比率	33.3%	0.0%	15.2%	15.4%	40.0%	12.5%	7.1%	30.0%	17.6%
対応する二字漢字表記語合計		3	8	250	65	55	72	14	10	477	
『英和正辞典』明18	対応する〔○型〕項目数	0	6	83	19	13	19	5	3	148	
	対応する〔○型〕の二字漢字表記語内比率	0.0%	75.0%	33.2%	29.2%	23.6%	26.4%	35.7%	30.0%	31.0%	
	対応する〔△型〕項目数	0	2	122	31	19	36	6	4	220	
	対応する〔△型〕の二字漢字表記語内比率	0.0%	25.0%	48.8%	47.7%	34.5%	50.0%	42.9%	40.0%	46.1%	
	対応する〔-型〕項目数	3	0	45	15	23	17	3	3	109	
	対応する〔-型〕の二字漢字表記語内比率	100.0%	0.0%	18.0%	23.1%	41.8%	23.6%	21.4%	30.0%	22.9%	
	対応する二字漢字表記語合計	3	8	250	65	55	72	14	10	477	

		『英語節用集』所収部名	宗哲	學術	宗応	人官	政法	政応	堂処	年歴	計
第二次英学書 1-1ム期	『新撰初学英和辞書』明18	対応する〔〇型〕項目数	0	7	74	19	13	19	7	5	144
		対応する〔〇型〕の二字漢字表記語内比率	0.0%	87.5%	29.6%	29.2%	23.6%	26.4%	50.0%	50.0%	30.2%
		対応する〔△型〕項目数	0	0	121	28	16	37	3	2	207
		対応する〔△型〕の二字漢字表記語内比率	0.0%	0.0%	48.4%	43.1%	29.1%	51.4%	21.4%	20.0%	43.4%
		対応する〔一型〕項目数	3	1	55	18	26	16	4	3	126
		対応する〔一型〕の二字漢字表記語内比率	100.0%	12.5%	22.0%	27.7%	47.3%	22.2%	28.6%	30.0%	26.4%
	対応する二字漢字表記語合計	3	8	250	65	55	72	14	10	477	
	『訂訳大全英和辞書』明18	対応する〔〇型〕項目数	0	7	133	20	11	29	6	5	211
		対応する〔〇型〕の二字漢字表記語内比率	0.0%	87.5%	53.2%	30.8%	20.0%	40.3%	42.9%	50.0%	44.2%
		対応する〔△型〕項目数	0	1	93	33	21	33	6	4	191
		対応する〔△型〕の二字漢字表記語内比率	0.0%	12.5%	37.2%	50.8%	38.2%	45.8%	42.9%	40.0%	40.0%
		対応する〔一型〕項目数	3	0	24	12	23	10	2	1	75
		対応する〔一型〕の二字漢字表記語内比率	100.0%	0.0%	9.6%	18.5%	41.8%	13.9%	14.3%	10.0%	15.7%
	対応する二字漢字表記語合計	3	8	250	65	55	72	14	10	477	
	『英和小字彙』明20	対応する〔〇型〕項目数	0	7	73	20	12	20	6	6	144
		対応する〔〇型〕の二字漢字表記語内比率	0.0%	87.5%	29.2%	30.8%	21.8%	27.8%	42.9%	60.0%	30.2%
		対応する〔△型〕項目数	0	0	121	27	17	37	4	2	208
		対応する〔△型〕の二字漢字表記語内比率	0.0%	0.0%	48.4%	41.5%	30.9%	51.4%	28.6%	20.0%	43.6%
		対応する〔一型〕項目数	3	1	56	18	26	15	4	2	125
		対応する〔一型〕の二字漢字表記語内比率	100.0%	12.5%	22.4%	27.7%	47.3%	20.8%	28.6%	20.0%	26.2%
	対応する二字漢字表記語合計	3	8	250	65	55	72	14	10	477	
	『插图訂訳英和对訳新辞林』明20	対応する〔〇型〕項目数	0	4	105	21	10	6	4	1	151
		対応する〔〇型〕の二字漢字表記語内比率	0.0%	50.0%	42.0%	32.3%	18.2%	8.3%	28.6%	10.0%	31.7%
		対応する〔△型〕項目数	0	4	121	33	21	56	8	8	251
対応する〔△型〕の二字漢字表記語内比率		0.0%	50.0%	48.4%	50.8%	38.2%	77.8%	57.1%	80.0%	52.6%	
対応する〔一型〕項目数		3	0	24	11	24	10	2	1	75	
対応する〔一型〕の二字漢字表記語内比率		100.0%	0.0%	9.6%	16.9%	43.6%	13.9%	14.3%	10.0%	15.7%	
対応する二字漢字表記語合計	3	8	250	65	55	72	14	10	477		

表1-3 (明治20年代・現代辞書資料群)

		「英語節用集」所収部名	宗哲	学術	宗応	人官	政法	政応	堂処	年歴	計	
「英語節用集」明17		各所収部内の二字漢字表記語数	3	8	250	65	55	72	14	10	477	
明治20年代大型集成的対訳辞書	漢英対照いろは辞典「明21」	対応する立項〔〇型〕項目数	2	6	194	52	45	54	10	9	372	
		対応する立項〔〇型〕の二字漢字表記語内比率	66.7%	75.0%	77.6%	80.0%	81.8%	75.0%	71.4%	90.0%	78.0%	
	漢語英訳辞典「明22」	対応する立項〔-型〕項目数	1	2	56	13	10	18	4	1	105	
		対応する立項〔-型〕の二字漢字表記語内比率	33.3%	25.0%	22.4%	20.0%	18.2%	25.0%	28.6%	10.0%	22.0%	
	漢語英訳辞典「明22」	対応する二字漢字表記語合計	3	8	250	65	55	72	14	10	477	
		対応する立項〔〇型〕項目数	2	6	193	46	41	51	10	10	359	
	現代国語辞書	「岩波国語辞典7版」平24	対応する立項〔〇型〕の二字漢字表記語内比率	66.7%	75.0%	77.2%	70.8%	74.5%	70.8%	71.4%	100.0%	75.3%
			対応する立項〔-型〕項目数	1	2	57	19	14	21	4	0	118
		「岩波国語辞典7版」平24	対応する立項〔-型〕の二字漢字表記語内比率	33.3%	25.0%	22.8%	29.2%	25.5%	29.2%	28.6%	0.0%	24.7%
			対応する二字漢字表記語合計	3	8	250	65	55	72	14	10	477
現代国語辞書	「岩波国語辞典7版」平24	対応する立項〔〇型〕項目数	3	8	219	58	40	62	12	10	412	
		対応する立項〔〇型〕の二字漢字表記語内比率	100.0%	100.0%	87.6%	89.2%	72.7%	86.1%	85.7%	100.0%	86.4%	
	「岩波国語辞典7版」平24	対応する立項〔-型〕項目数	0	0	31	7	15	10	2	0	65	
		対応する立項〔-型〕の二字漢字表記語内比率	0.0%	0.0%	12.4%	10.8%	27.3%	13.9%	14.3%	0.0%	13.6%	
現代国語辞書	「岩波国語辞典7版」平24	対応する二字漢字表記語合計	3	8	250	65	55	72	14	10	477	

は、同じ第二次英学書ブーム期の資料群では『訂訳大全英和辞書』の44.2%に次ぐ高さを示している。坂本(2016)で指摘したとおり、『訂訳大全英和辞書』は『英語節用集』と興味深い親密性を示していたのであるが、いままた『英語節用集』に近づく数値を示す辞書が見られるということ、すなわち『英語節用集』の収載した訳語彙と性質を通わせる訳語を共有する辞書が該書刊行翌年に存するという事実が、これまで等閑に付されてきた小語彙資料の再評価を迫るものに映る。

『訂訳大全英和辞書』、『学校用英和字典』の編者が、直接編集作業の過程で『英語節用集』を全面的に活用したとは言えないまでも、部分的に活用している、或いはそれらが共通する参考資料を結果的に共有したことになる、という可能性が高まってくる。少なくとも編集の方針、精神というものが同じ方向で共有された辞書が同時期に存在しているということに大いに着目したい。

しかしながら、〔△型〕において『学校用英和字典』の46.1%という値は、たとえば『訂訳大全英和辞書』の40.0%に比して第二次英学書ブーム期国内系対訳辞書資料群の中でもさほど低いものではない。同じ英語見出しに対して別の訳語を掲出する比率がやはり高目なわけであり、『英語節用集』の訳語彙に対する親近性は全面的に抜きん出ているとまでは言えないさまである。

とはいえ、第二次英学書ブーム期で見れば、〔－型〕の『学校用英和字典』17.6%は、『訂訳大全英和辞書』・『插画訂訳英和対訳新辞林』の15.7%に次いで少ないものであり、『英語節用集』が扱った英語見出しの立項状況に近いものであったことがわかる。「学校用」「FOR SCHOOL USE」という『学校用英和字典』の戦略基軸は、『英語節用集』が『哲学字彙』の専門性を取り込みながらも「寒村僻邑ニ在リテ書籍師友ニ乏シキ人」（編者「緒言」）に対して便宜を図るべく啓蒙性・一般性の重視を併存させた路線と相通じるもの重なるものがたしかにあったということを示すところと捉えたい。

次に、『学校用英和字典』の対象項目について、明治20年代の大型集成辞書『漢語英訳辞典』、現代辞書『岩波国語辞典第7版』を交えた三資料間の対応を型別に整理したものが表2である。表中たとえば〔○○○〕型は、『学校用英和字典』で「○」－『漢語英訳辞典』で「○」－『岩波国語辞典第7版』で「○」、といった要領となっている。

ここから次節において、各型別に具体的な語彙リストを掲出し見て行くこととする。

4 『学校用英和字典』に関する各型別分析

4-1 〔○〕型

4-1-1 〔○○○〕型

この群は『英語節用集』、『学校用英和字典』の第二次英学書ブーム期辞書、そして明治20年代の大型集成辞書『漢語英訳辞典』、現代の『岩波国語辞典7版』と当該の二字漢字表記語が安定的に存在してきたと見られるものである。

【宗哲】 仏教/Buddhism 【學術】 哲学/Philosophy ← Phylosophy * 化学/Chemistry ← Chemistry * 数学/Mathematics 語学/Philology ← Phylology * 文学/Literature 【宗応】 宗教/Religion 天堂/Heaven ① 地獄/Hell 偶像/Idol 恭敬/Worship 真実/Real 社会/Society ① 己/Self-denial 慈悲/Grace ① 靈魂/

表2

	『英語節用集』 所取部名	宗哲	学術	宗応	人官	政法	政応	堂処	年歴	各型 小計	各型内構成 比率(%)	全体内構成 比率(%)
【○】型 〔該語掲出型〕	〔○○〕型	1	5	79	14	16	19	7	4	145	83.8%	30.4%
	同上型内比率(%)	0.7%	3.4%	54.5%	9.7%	11.0%	13.1%	4.8%	2.8%			
	〔○○-〕型	0	0	1	0	1	0	0	0	2	1.2%	0.4%
	同上型内比率(%)	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%			
	〔○-○〕型	0	2	10	3	1	2	1	0	19	11.0%	4.0%
	同上型内比率(%)	0.0%	10.5%	52.6%	15.8%	5.3%	10.5%	5.3%	0.0%			
	〔○--〕型	0	0	3	1	1	2	0	0	7	4.0%	1.5%
	同上型内比率(%)	0.0%	0.0%	42.9%	14.3%	14.3%	28.6%	0.0%	0.0%			
〔○〕型小計	1	7	93	18	19	23	8	4	173	100.0%	36.3%	
同上型内比率(%)	0.6%	4.0%	53.8%	10.4%	11.0%	13.3%	4.6%	2.3%				
【△】型 〔別語掲出型〕	〔△○○〕型	0	1	77	25	11	24	3	3	144	65.5%	30.2%
	同上型内比率(%)	0.0%	0.7%	53.5%	17.4%	7.6%	16.7%	2.1%	2.1%			
	〔△○-〕型	0	0	7	0	1	3	0	0	11	5.0%	2.3%
	同上型内比率(%)	0.0%	0.0%	63.6%	0.0%	9.1%	27.3%	0.0%	0.0%			
	〔△-○〕型	1	0	21	8	1	10	0	0	41	18.6%	8.6%
	同上型内比率(%)	2.4%	0.0%	51.2%	19.5%	2.4%	24.4%	0.0%	0.0%			
	〔△--〕型	0	0	14	4	1	3	2	0	24	10.9%	5.0%
	同上型内比率(%)	0.0%	0.0%	58.3%	16.7%	4.2%	12.5%	8.3%	0.0%			
〔△〕型小計	1	1	119	37	14	40	5	3	220	100.0%	46.1%	
同上型内比率(%)	0.5%	0.5%	54.1%	16.8%	6.4%	18.2%	2.3%	1.4%				
【-】型 〔不立項型〕	〔-○○〕型	1	0	26	7	11	5	0	3	53	63.1%	11.1%
	同上型内比率(%)	1.9%	0.0%	49.1%	13.2%	20.8%	9.4%	0.0%	5.7%			
	〔-○-〕型	0	0	3	0	1	0	0	0	4	4.8%	0.8%
	同上型内比率(%)	0.0%	0.0%	75.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%			
	〔--○〕型	0	0	6	1	0	2	1	0	10	11.9%	2.1%
	同上型内比率(%)	0.0%	0.0%	60.0%	10.0%	0.0%	20.0%	10.0%	0.0%			
	〔---〕型	0	0	3	2	10	2	0	0	17	20.2%	3.6%
	同上型内比率(%)	0.0%	0.0%	17.6%	11.8%	58.8%	11.8%	0.0%	0.0%			
〔-〕型小計	1	0	38	10	22	9	1	3	84	100.0%	17.6%	
同上型内比率(%)	1.2%	0.0%	45.2%	11.9%	26.2%	10.7%	1.2%	3.6%				
全体合計	3	8	250	65	55	72	14	10	477	-	100.0%	

Soul 蘇生/Revive 感觉/Sensation 原因/Cause 道德/Morality 観念/Idea 虚
 無/Void 真理/Truth 気力/Vigour 性質/Character 金言/Aphorism 讚美/
 Approbation 智慧/Wisdom 議論/Debate 題目/Thesis 教会/Congregation 熱心
 /Zeal 不幸/Unfortunate 利用/Utility 自殺/Suicide 楽譜/Music-book 浄土/
 Purgatory 洗礼/Baptism 慈悲/Grace ② 神聖/Holiness 発明/Invention 注意/
 Attention 客舎/Public-house 魔法/Incantation 天命/Providence 狡猾/Cunning
 独立/Independence 改宗/Convert 便利/Convenient 会議/Convention ① 争論/
 Contention 嫉妬/Jalousy 裁判/Judicature 侵入/Invasion ← Invasion * 一般/
 General 結合/Coalescence 音楽/Music 内部/Interior 骸骨/Skeleton 名誉/
 Honor 關係/Consequence 戒心/Caution 旅行/Travel 教育/Education 愛情/
 Love 比較/Compare 妄想/Fanciful 石碑/Monument ← Manumend * 遺物/Relics
 習慣/Custom ① 攻撃/Attack 独学/Self-educated 戦争/Warfare 文明/Civilization

自由 /Liberty 才智 /Intelligence 道理 /Reason 世界 /World 混沌 /Chaos 風俗 /Manner 全能 /Almighty ← Almight * 天使 /Angel 創造 /Creation 情緒 /Emotion 正教 /Orthodox 【人官】商人 /Merchant 国民 /Nation 兵卒 /Soldier 伶人 /Musician 巡査 /Policeman 長官 /President 老人 /Oldman 兄弟 /Brother 姉妹 /Sister 叔父 /Uncle 叔母 /Aunt 女王 /Queen ← Queen * 盲目 /Blind 博士 /Professor 【政法】 権利 /Right 軍律 /Martial-law 政府 /Government 革命 /Revolution ② 王国 /Kingdom 帝国 /Empire 市区 /Municipality 国政 /Polity 憲法 /Consti-tution 内閣 /Cabinet 法律 /Law ② 規則 /Regulation ① 請願 /Petition 誤用 /Misuse 商議 /Negotiation 命令 /Order ② 【政応】 同盟 /Alliance 補任 /Appoint-ment 抑制 /Control 公会 /Convention ② 節操 /Continece 無罪 /Inno-cence 反逆 /Rebellion 服従 /Homage 交誼 /Friendship 堅忍 /Perseverance 口実 /Pretension 主義 /Principle 問題 /Problem 贅言 /Redundancy 条例 /Regulation ② 会員 /Member ② 規則 /Rule 理論 /Theory 許容 /Toleration 【堂処】 鐘楼 /Belfry 本寺 /Mother-church 旅館 /Hotel 薬舗 /Apothecary-shop 宮殿 /Palace 銀行 /Bank 病院 /Hospital 【年歴】 年代 /Age 歴史 /History 事実 /Fact 社会 /Society ②

【學術】領域が5項目見られるが、これは同領域全8項目の62.5%を占めており、「哲学」「化学」「数学」「語学」「文学」の各語形の定着ぶりが確認できる。〔〇型〕173項目中ではこの〔〇〇〇〕型が145項目と83.8%と高い比率を占めており、纂訳者が「大抵従来諸家慣用ノ字面ニ従フ」としている訳語選定作業が実際世間一般に通用の定着を見せているものが多くなるものであったことを示している。

また上のリスト中『学校用英和字典』において、英語見出しに対して訳語が当該の二字漢字表記語のみとなっていて、一対一対応の高い固定性を見せているものに下線を付した。これらについては、「其語ノ学校生徒ニ必要ナルト否ラサルトヲ問ハス偏ヘニ字数ノ多キヲ競ヒ葉数随テ多ク価額随テ貴ク徒ラニ購者ノ不便ヲ増スノミ」と徒に紙数を増すことを避け削減に努めたという趣旨に適ったところとして捉えることが出来よう。もちろん、他の項目については例えば World 項が「世界 寰宇 世間 地球 世事 浮世 大衆 万国 万物 大地 万民」と群中最多11語形の訳語を掲げ、次いで多い7語形を挙げた Consti-tution 項「性質 憲法 政体 律例 体質 構成 本質」Alliance 項「同盟 結縁 表親 親族 会盟 結親 聯盟」Bank 項「岸 浜 堤 洲 銀行 銭店 両替屋」が存するなど、それなりに多数の訳語形を載せる場合もあり、必ずしも語形厳選削減の方針が徹底するといったことではなかったようである。

このことは、学校実用の翻訳場面に際して多様な文脈に対応する上で「学校生徒ニ最モ切要ナルモノ」を採用した結果であるとすれば、多義的な記述を要するものと至極簡略に応ずるものとに柔軟に対処しながら編集作業が進められたことを示唆するのであって、「実用」と銘打つ所以がそこに見て取れる。

ちなみに、上に挙げた World、Constitution、Alliance、Bank の各項について『学校用英和字典』の刊行年に近い明治19年刊『和英語林集成』Ⅲ版英和の部を見てみると次のようになっている（破線を付したものは明治5年刊Ⅱ版にはなく、新たにⅢ版が増補した訳語。また、以下の『和英語林集成』記述においては行論に差障りのない範囲で適宜漢字かな交じりで表記する場合がある。）。

World n. Sekai chikyu tenchi tenka seken yo sejo seji (増補無し)

Constitution n. Seishitsu kumitate jintai shō sho-ai seitai seiji ; horitsu okite

Alliance n. Chinami chigiri en yukari domei

Bank n. Tsuka tsutsumi dote azuchi ; kishi se ; kawaseza hama ; ryo-gae-ya ginko (Ⅱ版からは kane-kashi 削除、ryo-gae 語形に ya を添加。)

『和英語林集成』Ⅱ版～Ⅲ版間で、Bank 項において「金貸し」が廃止され「銀行」が増補されていることが目に付くが、『学校用英和字典』でも「銀行」が掲出されており、新しい概念を表す漢語の採用として注目できる。

また、Alliance 項でも同様に『和英語林集成』で増補された「同盟」が『学校用英和字典』で挙げられることも新時代の息吹を感じさせるが、『和英語林集成』が他には「ちなみ 縁 ゆかり」のような和語或いは日常に馴染んだ一字漢語を挙げたのに対して、『学校用英和字典』が掲出したものは全て二字漢語であることが興味深い。他の6語形について見れば、「表親」などは『日本国語大辞典第2版』にも見出しとして見られないように日本語語彙としての存在が訝しく思われるものであるが、これは例えば先に取り上げたロブシャイド原著井上哲次郎訂増『訂増英華字典』のAlliance 項を見てみると、次のような事情であった。

Alliance n. Family connection by marriage 親家 結親 ; affinity as nephews 表親 ; affinity as the other or more distant branches of one's marriage connections 親属 ; a union between nations 盟 会盟 合盟 約盟 ; to form an alliance 結盟 聯盟 ; “the compact to Ts'in and Tsin” 秦晋之盟 ; an alliance

in perpetuity 金石同盟；an alliance formed by the drinking of blood 歃血之盟；to contact a family alliance 娶親 結親

『訂増英華字典』そのものを『学校用英和字典』纂訳者が見たかどうかは定かでないが、波線部の語形がそのまま『学校用英和字典』に挙がっているところが、「前例ヲ欠クモノ及ヒ訳語冗長ニシテ称呼通読ニ不便ノ者ハ英人ロブスチエールド氏著英華辞典及ヒ上海申報館発兌ノ華英字典等ニ就キ漢人ノ訳語ヲ仮用シ之ニ傍注ヲ附ス」と記した編集作業の実態を窺わせるものである。

『学校用英和字典』が掲げた「学校用」ということばは重義的であり、一つには教室初学者用という平易日用性を指すとともに、一方で翻訳学習の中でしか使われない非日用的ともいえる専門学術性をも指している、そういう背反する二つの理念が合したものであることを、ここで確認せざるを得ないことになる。これはまた『英語節用集』において見られたものでもあった^(註8)。

第二次英学書ブーム期において、「学校生徒ニ必要ナルト否ラサルトヲ問ハス」肥大化し「購者ノ不便ヲ増スノミ」となった辞書商品の競争激化の中、簡略化低価額化を打ち出して勝負に出た『英語節用集』『学校用英和字典』といった廉価対訳辞書群は、この平易日用性と専門学術性の反義的な両面性を併せ持ちながら、廉いながらも高品質を備えた商品として消費購買層にアピールすることで販売活路を開拓しようとした、そういうブームの中にあったということが分かる。

4-1-2 【〇〇-】型

明治期の辞書に語形が見られながら、現代日用の辞書『岩波国語辞典7版』に収載されないものである。

【宗応】記憶/Memory 【政法】民政/Democracy

「民政」は、『和英語林集成』英和の部でⅡ版が「共和政治」のみを挙げるのに対しⅢ版が「民政」増補していることが『学校用英和字典』における採用の背景を窺わせるているが、『訂増英華字典』の次の記述もやはり参考にするべきなのであろう（波線は稿者による。以下同じ。）。

Democracy n. Government by the people 民政 衆人管轄 百姓弄權 推民自主之國政

4-1-3 【〇-〇】型

明治20年代の大型集成辞書『漢語英訳辞典』には見出し収載されないが現代辞書『岩波国語辞典7版』には立項されるものである。

【學術】神学/Theology 詩学/Poesy 【宗応】画像/Portrait 固執/Bigotry 不正/Wrong 預言/Prophecy 演説/Speech 進化/Evolution 略説/Summary 神経/Nerve 殖民/Settler ← Settled 元始/Beginning 【人官】巫女/Witch 悪魔/Satan 歯医/Dentist 【政法】動議/Motion 【政応】自制/Self-control 自責/Self-reproach 【堂処】墓地/Church-yard

「歯医」の語形については、『和英語林集成』英和の部はⅡ版・Ⅲ版ともに「歯医者 入れ歯師 歯抜き」を挙げるのみであるが、『訂増英華字典』には次の記述状況がある。

Dentist n. 医牙医生

Dentistry n. 医牙之事 歯医 医牙先生

Dentist 項にはふさわしい二字漢語がなかった模様だが、直下の Dentistry 項目には「歯医」の語形が掲出してある。『学校用英和字典』は二字漢語語形としてはこの手のものを採用し、それに「ハイシヤ」とルビを振っている。この項目記述のありさまこそは、「英人ロブスチエールド氏著英華辞典及ヒ上海申報館発兌ノ華英字典等ニ就キ漢人ノ訳語ヲ仮用シ之ニ傍注ヲ附ス」という作業がまさに具現化されたものであろうか。華英辞書世界から漢字表記語形を採用し、『和英語林集成』或いはそれに通じる世間一般の日用語形「歯医者」を傍注として付す、このような編集作業であったと該項目の記述は語っているようである。

4-1-4 【〇--】型

【宗応】謬信/Superstition 執意/Volition 習成/Factitious 【人官】邪蘇/Christ 【政法】君政/Monarchy 【政応】反情/Antipathy 種属/Race ①

先に見た「民政」をめぐる状況に対して、「君政」のそれはどうであったか。

『学校用英和字典』の項記述は「君政 君主国」であったが、まず『和英語林集成』Ⅲ版英和の部 Monarchy 項について挙げる。

Monarchy n. Gunken kunsei

次いで『訂増英華字典』の記載状況を次に示す。

Monarchy n. 一主之國 有君之國 君主之國 ; a kingdom 國 ; a limited

monarchy 君権有制限

上のようにロブシャイド華英辞書世界には「君政」の漢字表記語形はなく、『和英語林集成』中ではII版に存しなかった「君政」がIII版で採用されている。それを『英語節用集』も『学校用英和字典』も採用するなど、第二次英学書ブーム期には積極的に登用された語形であるが、明治20年代の『漢語英訳辞典』には収載されず明治21年刊『漢英対照いろは辞典』には「軍政」の項目はあっても「君政」の項目は設けられていない。このあたりは翻訳世界における訳語語形の激しい消長を示すものであり、結局現代においてこの英単語の概念を二字漢語で表すことはなくなり三字漢語「君主制」や四字漢語「君主政治」あたりが通用語形の座に収まっているといった事情である。

4-2 【△型】

4-2-1 【△○○】型

『学校用英和字典』では当該語形と異なる語形を掲出しているが、『漢語英訳辞典』『岩波国語辞典7版』が見出し収載しており当該語形自体は現代通用のものとなっている群である。

【學術】科学/Science 【宗応】私慾/Selfishness 誘惑/Temptation 正義/Justice ①
 感動/Impression 驕慢/Pride 信仰/Devotion 結果/Effect 宗徒/Apostle 悲痛/
 Lamentation 憂愁/Sorrow 感応/Feeling ① 術数/Policy ① 方便/Means 禁止/
 Confinement 偏執/Bias 施物/Almonry 信用/Belief 集会/Assemble 異説/
 Dissent 憐愍/Pity 名辞/Term 名目/Name 奇遇/Accident 驚愕/Wonder 門
 派/System ← Sistem * 空虚/Vacuum 究竟/Ultimate ← Ultimote * 真如/Reality
 上天/Heaven ② 清浄/Purity 解釈/Explanation 絶対/Absolute 正直/
 Justness ← Jastness * 民情/Nationality ① 奇談/Paradox ② ← Padox * 愚痴/
 Obtuseness 寺領/Parish 高言/Rant 自負/Self-confidence 講談/
 Lecture ← Pecture * 差別/Difference 平等/Equality ← Eequality * 帰服/
 Obedience 永續/Continued 一致/Consort 守護/Conservation 改革/Revolution ①
 衰微/Decline 和睦/Concord 社中/Company 編輯/Compilation 外部/Exterior
 公会/Parliament ← Partiamt * 生活/Life 単純/Similar 基礎/Founded 餓死/
 Starve ← Staved * 堪忍/Abstain 精進/Religious-abstinence ← Religious-absternce *
 抵抗/Resist 驕慢/Self-conceit 自滅/Self-destruction 拜礼/Supplication ←
 Spplication * 意思/Will 有形/Physical 無形/Spiritual 法則/Method 公平/
 Conscientiously 一揆/Insurrection 愛情/Inclination 支配/Domination 死骸/
 Corpse ← Corse * 名声/Reputation 慣習/Habit 天賦/Implanted 有情/Sentient
 非情/Insensible 【人官】隠者/Eremit 僧正(邪教ノ)/Bishop 朋党/Party ① 信

者/Believer 天狗/Cherubim 紳士/Gentle-man 農民/Peasant 貴族/Noble-man
 奴隸/Slave 碩儒/Polymathy 囚人/Prisoner 官員/Officer 出家/Monk 眷屬/Kin
 子孫/Offspring 元祖/Originator 医者/Physician① 法師/Clerk 両親/Parent 宰相/Prime Minister ← Prim Minister * 門徒/Member① 医師/Physician② 惡漢/Wretch
 神仙/Genii 主宰/Ruler 【政法】国家/State 法制/Law① 平安/Peace①
 租税/Taxation 民情/Nationality② 管轄/Govern 布達/Proclamation 広告/Notification
 指令/Order① 建白/Memorial 家政/Economics 【政応】徒党/Party② 律令/Canon
 結合/Combination 約定/Compact 完全/Complete 連絡/Connection 允許/Consent
 勢力/Energy 独断/Dogma 結局/Goal 教唆/Instigation 正義/Justice② 義気/Patriotism
 平安/Peace② 償還/Payment 特許/Privilege ← Privilage * 未決/Problematic 遁辞/Quibble
 理由/Rationale ← Rational * 駁撃/Refutation 隱遁/Seclusion 撰択/Selection 定論/Theorem 弁理/Transaction
 【堂処】首府/Capital 市街/Street 関税/Custom② 【年歴】闘争/Struggle② ← Straggle * 服従/Subjection 人種/Race②

『学校用英和字典』では、例えば Science 項に「理学 知識 学 学問」を挙げて「科学」は採用されていない。『和英語林集成』英和の部ではⅡ版・Ⅲ版ともに「学 術 学問」を挙げており、「学 学問」あたりが主要な訳語であったことを窺わせる。第二次英学書ブーム期当時 Science の訳語としての「科学」は、少なくとも『学校用英和字典』纂訳者が採用に至るものでなかったようである。

4-2-2 【△○-】型

現代辞書『岩波国語辞典7版』に立項されず、現行では日用語形でなくなっているものである。

【宗応】除地/A'lloidium 昌盛/Prosperity ← Frosperity * 勳勞/Merit 誠信/Faith
 刑罪/Punishment 悦服/Obey 悔改/Repentance 【政法】政法/Policy② 【政応】
 虚誉/Vain-glory 中裁/Reconciliation 廉節/Temperance

Repentance の訳語については、『和英語林集成』英和の部Ⅱ版が「後悔 残念 悔み」を挙げⅢ版でこれに「悔い改め」ともう一語ローマ字表記「kwaik-wai」を増補しており「悔改」を指すものと考えられる。「悔改」語形がかつて和語が複合した「悔い改め」から創造されたさまを示唆する記述であるが、『訂増英華字典』Repentance 項記述中に訳語「悔改」は存していないのに対し、『哲学字彙』では明治14年刊Ⅰ版・同17年刊Ⅱ版ともに「悔改」の一語のみを挙げている。ともに井上哲次郎が関わった対訳辞書であっただけに興味深い。『哲学字彙』の「悔改」は『英語節用集』に採用され、さらに『訂増

英華字典』とは限らぬまでもロブシャイド英華辞典を見比べた可能性の高い『学校用英和字典』纂訳者が「悔改」を採用せず「後悔」を掲出していることが、この後現代に「悔改」が生き残ることがない未来を暗示しているようにも映る^(注9)。

結局、井上哲次郎『哲学字彙』の訳語語彙世界に推挙され、第二次英学書ブーム期に『英語節用集』や『和英語林集成』Ⅲ版でも登用された「悔改」は「後悔」との競争に敗れて姿を消すことになった訳であるが、『学校用英和字典』のような周辺辞書の断片記述にこうした事情を追跡する上で貴重な情報が埋もれていることに留意しておきたい。

4-2-3 【△-○】型

『漢語英訳辞典』での見出し立項が確認できないが現代辞書『岩波国語辞典7版』には掲載され日用語形となっていると判断できるものである。各々に『漢語英訳辞典』で収載されていない個別的な事情があるものと推測されるが、その追究については今後の課題としたい。

【宗哲】秘教/Esotericism 【宗応】楽園/Paradise ← Paradi-ce * 虚忘/Absurd 預知/Prescience ← Precience * 常住/Unchangeable 無常/Changeable 自覚/Self-consciousness 偽計/Deceite 無碍/Unconditional ← Unconditional * 永存/Persistence 輪廻/Transmission 天真/Natural 強欲/Lust 廃滅/Ruin 供物/Sacrifice 心意/Mind 牢獄/Jail 不能/Impossible 運命/Destiny 推理/Inference 土葬/Catacombs 理想/Ideal 【人官】外道/Heresy 仏陀/Buddha 幽霊/Sprite 詩家/Poet 婦女/Woman 教官/Teacher 牧師/Pedagogue ← Pedagoge * 坊主/Monastic 【政法】体制/Organization ← Oganization * 【政応】逆説/Paradox ① 公準/Postu-late 預察/Presumption 非議/Reproach 自決/Self-determination 詭弁/Sophism 競争/Struggle ① 同情/Sympathy 逆理/Unreasonable ← Anrea-sonable * 発動/Act

4-2-4 【△--】型

この群の語形は、『英語節用集』において採用されていたものが『学校用英和字典』訳語中には当該語形が見られず、後続資料では当該語形が項目として立てられることもなかったというものである。

【宗応】怒恚/Rage 味趣/Taste 邪執/Prejudice 崇奉/Adulation ← Adration * 布弘/Propagation 信約/Credit 成効/Result 敬謹/Respectful 定道/Predestination 出版/Edition 原素/Elements 激因/Stimulus 智覚/Feeling② 拝像/Idolatry 【人

官】仏弟/Buddhist 諸生/Scholar 逸士/Hermit 蕃民/Savageness 【政法】機制/Mechanism 【政応】妄論/Paralogism 自護/Self-defence 漸化/Variation 【堂処】貧院/Alms 屋宇/Edifice

転倒語形「味趣」は『和英語林集成』や『訂増英華字典』にも見られないものであり、諸辞書で採用がなされていない。なお、Taste 項については、『哲学字彙』I版・II版ともに「風味 雅趣 味覚(心)」となっている。「味趣」は『和英語林集成』III版で増補されることから両資料間の影響関係の可能性を窺わせるものである。

さらに、『学校用英和字典』の Taste 項記述に「風味 雅趣 弁別スル事 味覚 趣 美味」とあるのは、纂訳者が『哲学字彙』を参照した編集事情を示唆するものとして大いに注目出来るのである。例言中に『哲学字彙』を利用したことを特定できる記述は見られないのであるが、簡略を旨とした商品作成作業の中6語形を並べ挙げ、しかも『哲学字彙』の3語形が丸ごと共有されているという事実は、今後『哲学字彙』の第二次英学書ブーム期辞書に与えた影響を検討する上でも大きな意味を持つものと考えてるのである。

4-3 [-] 型

4-3-1 [-○○] 型

訳語語形そのものは『漢語英訳辞典』『岩波国語辞典7版』と掲載されるものであり日用の語彙として見る事が出来るものであるが、セットとなっている英語の方が『学校用英和字典』には項目を立てるだけの必要性を持たなかったという事情が多くに見受けられる。「学校生徒ニ必要ナルト否ラサルトヲ」検討した結果、辞書経済化のため立項見送りとなってしまった群と見てよいだろう。

【宗哲】神道/Shintoism 【宗応】良心/Moral sense ← Moralsence * 現世/Present-world 木像/Wooden-idol 五官/Five-senses 悪念/Evil-thought 悪業/Evil-deed 不朽/Perpetuity 寓言/Phenakism 心痛/Pang 瑞相/Lucky-omen ← Luchy-omen * 改正/Meliorty 怠惰/Neglectedness 故郷/Native-place 説法/Preaching 願望/Requisition 後悔/Contriteness 落涙/Shed-tear 理論/Declamation 行状/Comportment 野蛮/Barbaric 遍歴/Extravagated 臆説/Hypothetical 誘引/Exticement 葬礼/Interment 教化/Humanization 異教/Gentilism 【人官】化身/Avatar 賢者/Wise-man 平民/Laity 皇族/Royal-family 学者/Learned-man 学士/Scientist 聖人/Holy-man 【政法】政権/Political-right 民法/Civil-law 刑法/Criminal-law 行政/Executive-power 立法/Legislative-power 虐政/

Cruel-Government 参議 /Privy councillor 県令 /Governor of province ← Governor of provinc * 除籍 /Denationalization 国法 /Municipal-law 法式 /Modus 【政応】要路 / Compendium 黙許 /Tacit-consent 腕力 /Physical-force 全権 /Absolute-power 与論 / Public-opinion 【年歴】建国 /Nationalization ← Nationali-gation * 帰化 / Naturalization ← Naturali-gation * 総計 /Totality

4-3-2 [-○-] 型

大型集成辞書『漢語英訳辞典』には見出し収載されたものの、現代通用語形とは認定されていない群である。

【宗応】覚他 /Tolead consciousness of otherselves 練熟 /Masterliness 降生 / Incarnation 【政法】政法 /Political-law

Incarnation は、『訂増英華字典』において次のように記述される。

Incarnation n. 降生為人者 降生者 ; the incarnation of Christ 基督之降生者 基督成為人.

『和英語林集成』英和の部は、II版の「Nintai wo ukeru koto, keshin」にIII版は「jushin kotan kosen」を増補する。「kosen」がどの漢語に引き当てられるのか判断が難しいのであるが、「kosei」の誤植であれば「降生」が妥当なものとも考えられる。ということであれば、『哲学字彙』I版・II版が「Incarnation 降生(宗)」と記述したものは、第二次英学書ブーム期において『英語節用集』『和英語林集成』そして集成辞書『漢語英訳辞典』に流れ込み一定の影響を与えたものの、現代通用の日本語語彙には残らなかったという展開が描けるところであろう。

もっとも、『哲学字彙』が「(宗)」と位相が限定的な宗教用語と断っていることを考え合わせれば、「宗教哲学ノ術語ニシテ東西其名ヲ異ニシ其实ヲ同スルモノ、如キ亦頗ル多シ」(編者緒言)として「宗教家応用語」部を特立するに至る『英語節用集』がその部に「降生 incarnation」と立項記載し、また基督教に強い関わりをもつヘボンが該語を挙げて見せたと受け取ることも十分に可能なものではなからうか。第二次英学書ブーム期の動きの一端をこうして切り取って観察できるこれら辞書資料の記述の重ね合わせは、近代日本語語彙の形成を辿る上でも大いに意義深いものであると考える。

4-3-3 [-○] 型

【宗応】涅槃/Nirvana ← Nivana * 自利/Self-benefit 利他/Altruism 信心/Spirituality 後住(寺ノ)/Provisor 虚霊/Spiritual existence 【人官】演者/Speechman 【政応】内政/Administ-ration 大本/Fundamental-principle 【堂処】仏堂/Budder

『英語節用集』編者は「寒村僻邑ニ在リテ書籍師友ニ乏シキ人ニ至テハ宗教ハ仏教耶蘇教等ノ四五種ニ止マルカ如ク」と緒言中で嘆きながら、日本語－英語の対訳辞書に仏教用語も含めて広く宗教用語をその記述対象として採用した。そのため、この群に見るように「涅槃 仏堂」といった他の対訳辞書資料では扱われ難いものまでをも収めるに至った。『学校用英和字典』『漢語英訳辞典』において収載されていないことは、そうした事情に拠るものであろう。しかしながら、訳語の語形そのものは現代日用のものとして『岩波国語辞典7版』に立項されているというものである。

4-3-4 [---] 型

『学校用英和字典』『漢語英訳辞典』で収載されることなく終わり、訳語語形も現代では非日用のものと思われていた群である。

【宗応】 寺法/Canon-law ← Conon-Law * 有体/Corporeal 瑞夢/Lucky-dream ← Luchy-dream * 【人官】弁者/Eloquent 審吏/Justice of the peace 【政法】天権/Natural-right 徳権/Moral-right 法権/Legal-right 純権/Absolute-right 大輔/Vice-minister 少輔/Assistant vice minister 知府/Governor of department 用式/Modus-ponens 廢式/Modus-tollen 性法/Law of nature 【政応】明許/Express-consent 通理/Universal-truth

Corporeal については、『哲学字彙』I版・II版ともに「有体」を挙げる。同じ井上哲次郎が関わった『訂増英華字典』でも次のように記述されている。

Corporeal, Corporeous a. Having a body 有形 有体 有形象的; corporeal form 形体 形象; a corporeal being 有形体 有体 有形迹的 有形有身。

当代「有体」の訳語が強く結びつくさまが見て取れるが、『和英語林集成』においても英和の部II版で「体の 体 有体」またIII版でも「体の 体の 有体 体ある」となっており、やはり「有体」は二字漢字表記の訳語としては専用であったと言える様子である。『学校用英和字典』では英語 Corporeal 自体が項目を立てるだけの評価に達していなかったということであり、「学校生徒ニ最モ切要ナルモノ」との認定はなされぬままに終わっている。

おわりに

『学校用英和字典』は廉価英和辞書刊行ブームの中、「学校用」に必要なものに限定し節減した項目選択、訳語選択を行っている実情の一端が今回の調査を通して窺い知ることができた。その訳語選択作業においては、ロブシャイドの英華辞典なども活用したと例言で述べたとおり、中国系華英辞典が本邦英和辞書とが並べられ吟味された点も確認することが出来た。

このような態度は『哲学字彙』のような影響力の強かった資料においても取られていたものであり、訳語設定の手法として英華・英和が交差する当代対訳辞書の潮流が第二次英学書ブーム期のさほど主要なものとは見られていない辞書資料においても確認できることは、近代日本語語彙形成の史的展開を検討して行く上で重要な意味を持つ。

今回、纂訳者が例言で挙げているウエブスター、オグルビー、ナトール各氏関連の辞書資料群までも十分に検討する余裕がなかったけれども、『学校用英和字典』というこれまでほとんど顧みられることのなかった泡沫的辞書資料にも、日本語語彙研究に資する言語情報はまだまだ隠されていることが確認出来たものと思う。

今後とも第二次英学書ブーム期を中心に対訳辞書資料群の調査研究を進めて行くこととしたい。

◎本稿は、平成29～31年度科学研究費補助金基盤研究（C）：研究課題「福岡に残る洋学資料コレクション筑紫文庫資料を主対象とした近代対訳辞書の基盤研究」を活かした成果の一部である。

【注】

(注1) 屋名池(1991)による用語。安政6年から明治6年までを第一次英学書ブーム期、明治15年以降を第二次英学書ブーム期と定義している。

(注2) 坂本(2006A)等を参照されたい。なお本稿中の引用に際しては、漢字字体は論に差障りのない範囲で適宜現行のもので表示することがある。

(注3) 引用中「■」は「明治期出版広告データベース」表示のままに示す。以下同。

(注4) 広告中での書名は『学用英和辞典』『小学用英和辞典』などと揺れているものの、広告内容から同一書であると判断できる。

(注5) 長崎大学附属図書館近代化黎明期翻訳本全文画像データベースに公開されている

『華英字典』（1879年申報館昌書画室発兌。）http://gallery.lb.nagasaki-u.ac.jp/dawnb/economy_29_1.html

(注6) 『近代日本英学資料8 訂増英華字典』ゆまに書房 1995年刊。

(注7) 『英語節用集』のテキストは、大阪府立大学（旧大阪女子大学）蔵本を使用。該書の本編部分組織構成については以下のとおりであり、（ ）内は本稿における略称を示す。

宗教及哲学論派名称（「宗哲」）	：135項目
学術名称（「学術」）	：61項目
宗教家応用語（「宗応」）	：284項目
人品及官位（「人官」）	：160項目
政治及法制（「政法」）	：123項目
政治家応用語（「政応」）	：93項目
堂屋及処名（「堂処」）	：40項目
年代及歴史（「年歴」）	：18項目

上記のとおり、本編部分は全8部で構成されており、合計914項目が立項されている。また巻末付録として、「各国政体及宗教」が収載されている。

以下本稿に挙げるリスト中で「←」の箇所は、『英語節用集』において英字綴りの誤用等と稿者が判断したものであり、「(修正すべきと思われる綴り表記) ← (誤りと思われる綴り表記)」の要領で示している。英字見出し語形に①②と付してある場合は『英語節用集』において重複立項されている場合で、先に掲出されたものを①として表示している。また、リストにおける掲出順序は、『英語節用集』中の出現順に沿ったものである。

(注8) 坂本(2006A)等を参照。

(注9) 『学校用英和字典』では次のような項記述となっており、直前の Repent 項の「後悔スル」を承けて「後悔スル事」を指し示す形を取っている。

Repent (自) 後悔スル
Repentance (名) 同上スル事

【調査関連資料類】

『英和掌中字典』：国立国会図書館デジタルコレクション公開の画像資料を使用。明治6年刊行。

『華英字典』：永峰秀樹訓訳『華英字典』。中身は英語見出しによる英和对訳辞書。九州大学筑紫文庫蔵本を使用。明治14年刊行。

『英和袖珍字彙』：国立国会図書館デジタルコレクション公開の画像資料を使用。明治17年刊行。

『新撰初学英和辞書』：国立国会図書館デジタルコレクション公開の画像資料を使用。明治18年刊行。

『写真石版附音挿図英和字彙』：家蔵本（『附音挿図英和字彙』初版の縮刷写真版）を使用。

明治18年刊行。

『英和正辞典』：国立国会図書館デジタルコレクション公開の画像資料を使用。明治18年刊行。

『訂訳大全英和辞書』：国立国会図書館デジタルコレクション公開の画像資料を使用。明治18年刊行。

『英和小字彙』：国立国会図書館デジタルコレクション公開の画像資料を使用。明治20年刊行。

『插画訂訳英和对訳新辞林』：国立国会図書館デジタルコレクション公開の画像資料を使用。明治20年刊行。

『漢英対照いろは辞典』：『明治期国語辞書大系 [普2] 漢英対照いろは辞典』（1997 大空社 飛田良文ほか編）を使用。明治21年刊行。

『漢語英訳辞典』：九州大学筑紫文庫収蔵本を使用。明治22～25年刊行。

